

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	小笠原諸島世界遺産保全管理拠点基本計画等策定費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	自然環境計画課		課長 亀澤 玲治		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	世界遺産条約第4, 5条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成23年6月に世界遺産に登録された小笠原諸島については、陸産貝類をはじめとする生物相が生物進化のプロセスを顕著に示していることが世界遺産の価値として認められているが、これらの生物の生息は、侵略的な外来種が存在等により脅かされている。登録の際の決議において侵略的な外来種への対策の継続が求められている。これらの対策を進めるためには、資材に付着した外来種の冷凍処理等の必要な措置を施すことのできる施設が必要であり、新たな外来種の侵入を防止するための保全管理の拠点施設として小笠原国立公園小笠原世界遺産センター(仮称)を設置し、我が国が国際社会に約束した将来にわたる小笠原諸島の世界遺産としての価値の保全を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上述の目的を果たすために、保全管理の拠点施設として小笠原国立公園小笠原世界遺産センター(仮称)を整備するための基本計画等を策定する。同拠点は、上述の侵略的な外来種の新たな侵入や拡散を防止するための機能とその効果的な運用に資する機能を有する施設とする。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	7	25	10	
		補正予算	-	-	0	0		
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	7	25	10	
	執行額		-	-	6			
執行率 (%)		-	-	86				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	小笠原諸島世界遺産地域の保全管理の推進と世界遺産としての価値の維持を目的とした事業であるため、定量的な成果目標を示すことは困難。			成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	小笠原国立公園小笠原世界遺産センター(仮称)を整備するための実施設計			活動実績 (当初見込み)	件	-	-	基本計画1件策定 (基本計画1件策定)
単位当たりコスト			算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費	0.2	0.06	平成26年度は「世界遺産保全管理拠点施設等整備」に組み替え、世界自然遺産候補地奄美・琉球の保全管理等に必要な施設の全体構想策定費を要求。				
	施設施工庁費	0.2	0.08					
	施設整備費	24.8	10					
計	25.2	10.1						

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録地域を適切に保全管理することは締約国の義務である。 小笠原諸島の世界遺産としての価値を構成する陸産貝類は侵略的な外来種の影響を受けやすく、価値の保全のために適切な対策を行わない場合には、世界遺産としての価値が損なわれ、危機遺産リストに掲載される恐れがある。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> 支出先の選定にあたっては、透明性・公平性・競争性を確保するため、一般競争契約の方式を導入している。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> 関係自治体等による既存施設の現況や主な機能について整理し、小笠原国立公園小笠原世界遺産センター(仮称)が担うべき役割・機能等について基本計画としてまとめた。 今後、この基本計画を踏まえた測量調査や実施設計等が見込まれる。 		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業については、世界遺産に登録された小笠原諸島における新たな外来種の侵入を防止するための保全管理の拠点施設として小笠原国立公園小笠原世界遺産センター(仮称)を設置し、世界遺産としての価値を保全することとしている。 平成24年度の当該事業の執行では、その施設を整備するための基本計画を策定したところであり、今後実施設計、そして施設の整備に向けて、地元等の関係者との調整を進めつつ、公平性・競争性のある調達に努めるとともに、目的に即した事業の実施に努める。 					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。					
	備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	24 新-031	平成24年	新24-009

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
6百万円

我が国が国際社会に約束した将来にわたる小笠原諸島の世界遺産としての価値の保全を図る。

関東地方環境事務所
6百万円

【簡易公募型競争入札】

A.(一財)自然環境研究センター
6百万円

保安全管理の拠点施設として小笠原国立公園小笠原世界遺産センター(仮称)を整備するための基本計画を策定する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(一財)自然環境研究センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究主幹～研究員A 延べ49人日	1.95			
旅費	職員出張旅費	0.17			
雑役務費	電子成果品作成費等	0.68			
一般管理費		1.66			
その他		1.06			
消費税及び地方消費税		0.28			
計		6	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	小笠原国立公園小笠原世界遺産センター(仮称)基本計画の策定	6	2	85